

自治ひょうご

1631号

2023. 6. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/秦 信昭

当面の日程

- 17、27日 県本部野球大会(西宮市内)
- 23日 県本部労働安全衛生集会(神戸市教育会館)
- 25日 町職連協ボウリング交流会
(姫路市・青山スポーツガーデン)
- 29日 県本部中央委員会(新長田ピフレホール)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

シリーズ「一歩前へ」①

『働き方の確認をお願いします!』

尾西亮太郎 県本部書記長

県本部書記長の尾西です。組織強化に向けて「一歩前へ」の取り組みをシリーズでお届けします。

次回から「人員は足りてる?」をテーマに①定時に帰ってリフレッシュ②夏期休暇や年休は取れてる?③超過勤務は?などを考えていきたいと思います。あわせてAIで人の代わりはできるの?②自治体がDXの導入でどうなるの?なども追及していきます。

この間、地方自治体では人員不足のため、長時間労働を行うことが当たり前となつていますが、2018年6月にいわゆる「働き方改革関連法」が成立し、時間外労働の上限規制が定められました。自治体でもこれらを踏まえた条例・規則等の改正により上限規制等の制度が導入されています。しかし、法改正や制度整備だけでは、その実効性が担保できるものではありません。

安全衛生委員会や労使交渉により、職場実態に応じて真摯に知恵を出し合い、具体的取り組みを実行することが長時間労働是正に向けて必要不可欠だと考えています。

あらためてシリーズの最後には「労働組合の役割」「労働組合のススメ」と題して提起し、すべての組合員が安心して65歳まで働き続けられる職場を引き続きめざしていきます。

川本淳本部長が、長は、「すべての活動の根幹となるのは組織の強さであり、労働組合活動をさらに強化していくためにも、多くの職場の仲間の組合結集をめざしていきます。」

川本淳本部長が、長は、「すべての活動の根幹となるのは組織の強さであり、労働組合活動をさらに強化していくためにも、多くの職場の仲間の組合結集をめざしていきます。」

川本淳本部長が、長は、「すべての活動の根幹となるのは組織の強さであり、労働組合活動をさらに強化していくためにも、多くの職場の仲間の組合結集をめざしていきます。」

川本淳本部長が、長は、「すべての活動の根幹となるのは組織の強さであり、労働組合活動をさらに強化していくためにも、多くの職場の仲間の組合結集をめざしていきます。」



講演を行う赤井書記長

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

「部活問題に潜む社会の問題」をテーマとして県本部は「平和・人権環境を考える集い」を6月3日、加古川市人権文化センターで開催した。集いでは記念講演と3分科会が実施され各単組や協力団体から約90人が参加した。

平和・人権・環境

包括的な差別禁止法を

ばねを押さえる力を弱めない

ギョツと押さえる手の力が弱まらないようにすることが求められており、人権に対して包括的な差別禁止の仕組みをどうしていくのが課題となる」と最後に述べた。

講演後は3分科会が開催された。「自治体における同和研修の実態について」では三田市職労・加古川市職労・丹波篠山市職労から職場での人権研修の実施状況や内容について報告を受けた。多く自治体では人権研修が減っていることから、あらためて研修の重要性を確認した。「障害者の職場での差別について考える」では、障害者への情報保証の担保や障害を持つ職員への様々な配慮が足りていないなど職場の状況や各単組での取り組みが報告され「取り組みを持ち帰り活

用したい」との声も聞かれた。「人権フィールドワーク」では、地元の方を案内人とし、会場近辺の人権にかかわる要素について、説明を受けた。

正規と取り扱いを同等に 会計年度職員の立場から発言



発言する木南中央委員

木南中央委員は、「昨年(2022)の給与改定で正規は4月週及されたものの会計年度はほとんどの市町が週及されなかった。私たちも勉強不足だったが、今後は全単組の会計年度任用職員が4月週及されるよう粘り強い交渉を進めるとし、雇止め問題については「年度末に組合員の雇止め問題が数件発生した。ピラ配布行動などを取り組み、すべての雇用止めを白紙撤回させることができたが、会計年度は常に雇用不安が付きまとう。本部においては、雇用不安の解消に向け省庁

木南中央委員は、「昨年(2022)の給与改定で正規は4月週及されたものの会計年度はほとんどの市町が週及されなかった。私たちも勉強不足だったが、今後は全単組の会計年度任用職員が4月週及されるよう粘り強い交渉を進めるとし、雇止め問題については「年度末に組合員の雇止め問題が数件発生した。ピラ配布行動などを取り組み、すべての雇用止めを白紙撤回させることができたが、会計年度は常に雇用不安が付きまとう。本部においては、雇用不安の解消に向け省庁

木南中央委員は、「昨年(2022)の給与改定で正規は4月週及されたものの会計年度はほとんどの市町が週及されなかった。私たちも勉強不足だったが、今後は全単組の会計年度任用職員が4月週及されるよう粘り強い交渉を進めるとし、雇止め問題については「年度末に組合員の雇止め問題が数件発生した。ピラ配布行動などを取り組み、すべての雇用止めを白紙撤回させることができたが、会計年度は常に雇用不安が付きまとう。本部においては、雇用不安の解消に向け省庁

いまいち座

ひもづけたものが...



吉田ノボ

しこう

しこうの執筆を始めて随分経つ。1年前の6月15日号も、しこう記事を書いていた。執筆者ごとにカラーがある。御多分に漏れず私もすぐに気付けられるだろう。最近、出来るだけ本を読むようにしている。読んだ著書名は備忘録がわりにSNSに投稿していたりする。フェイスブックはその日の思い出でアップされるからちょうど良い。そんな中、タイパという言葉をよく聞く。コスパは昔から意識しているが、タイパまでくると世知辛さを感じる。金に追われるからコスパが気になるが、時間にも追われてタイパが気になる。どの社会になったのか。▼ネタバレで映画や本を選んだり、倍速再生で映画を見たりするほど、限られた時間の中で情報過多の渦に飲み込まれているということか。そういう自分もドラマを倍速再生してる。やはり心のゆとりには時間も金も大切ということか。

労働安全衛生センター総会

労災を未然に防ぐ 実体験から職場改善へ活かす

県本部友誼団体であるNPO法人ひょうご労働安全衛生センターの第18回通常総会が、6月3日に神戸市中央区文化センターで開催された。

提案された報告、計画等に対しての発言で、明石市職労大岡久典委員長から、明石震災アスベスト公務災害認定訴訟の結果とこれまでの協力・連携に対するお礼が述べられた。

総会後、よこはまシティユニオン組合員の日隈康裕さんを講師に「パワハラ・長時間労働問題における労働組合の役割」をテーマにした記念講演が行われた。

入社1年目に、長時間労働とパワハラにより精神疾患となり休職した日隈さんが、ユニオンと出会い、労働認定を勝ち取り、職場改善をめざし粘り強く団体交渉を重ね、9年かけて復職



総会の様子

する経過が報告され「自分の経験が労災後だけでなく、労災を未然に防ぐ参考となつてほしい」と訴えた。



県内各病院などから53人が参加した

5月27日、2023県本部衛生医療評議会ナースアクションが53人の参加のもと、兵庫県立姫路労働会館で開催された。

澤本明議長代行、県本部青木久美子副委員長のあいさつのうち、本部衛生医療評議会の平山春樹事務局長が「5類相当に引き下げ後の防疫等作業従事者と休暇制度の全国での取り組み状況」を情報提供した。

今回ナースアクションに初めて参加する組合員も多数いたため、山根正也事務局長より基調提起として①ナースアクションの開催主旨②経営形態の違いについて

理解する③保健所と地方衛生研究所の職員の増員について④看護職・介護職・看護補助職の業務分担と処遇改善について⑤医療技術職の課題について⑥病院で働く事務職員の重要性和労働環境・処遇改善について⑦超過勤務の課題について⑧休暇の取得に関する課題について、情報共有した。

各ブロックより疫等作業従事者について神戸市民病院機構、加西病院は9月末まで、明石市民病院は5月まで継続、それ以外は全て廃止。コロナ関連休暇について県立病院と神戸市民病院機構は陽性者、ワクチン

接種後発熱については職免。伊丹病院と豊岡病院では陽性者は職免。八鹿病院は陽性者は7日、濃厚接触者は5日の病気休暇、香住病院は陽性者のみ特別休暇とし継続、その他の病院では年休対応となった。

また保健師の増員について「保健師だけが増えたから問題が解決されたわけではない。新型コロナ感染症により3年間使命感だけで対応し、もどかしい思いで乗り切ってきた。健康を犠牲にしたり、持病が悪化したりし、ベテラン職員が減っており、今後人材育成をどうすべきか大きな課題

衛生医療評 ナースアクション

保健・医療の実情を市民へアピール

コロナ関連や人材育成などの課題も共有

となつている」など、報告を受け共有をはかった。

その後、JR姫路駅で保健職場・医療職場の課題と実情を訴えるプラカードを提示しながら、アナウンスを交えて「地域の保健・医療を守るため声を上げるのは労働組合とあなたです」とのメッセージを添えたテッシュを配布し、市民へのアピール行動を行った。

但馬丹波ブロック臨職評は学習交流会を4月16日に養父市内で開催し、8単組27人の会計年度任用職員が模擬交渉を中心に、スキルアップを行った。

主催者を代表し、泉有里議長は「会計年度任用職員に勤勉手当を支給可能とする地方自治法改正案が審議されているが、国会で法案が通っても、正規職員と同様の支給率で勤勉手当が支給されるかどうかは、それぞれの単組での交渉となる。そのためにも、今日の模擬交渉で交渉力を少しでも身に付けられるよう学習しよう」とあいさつした。



27人がスキルアップめざす

但馬ブロック 模擬交渉でスキルアップ 今後の闘争に活かす

模擬交渉は3つのテーマごとに行い、当局役のブロック役員に対し、参加者はグループの中で役割分担しつつも、全員が発言できるように工夫したり、当局側の受け答えに対し怯むことなく交渉を行った。最後は当局側を臨職評三役、組合側をブロックの役員が入れ替わつての交渉も行った。

狭山集會 早期の再審開始を求め 短期間で52万筆の署名が集まる

狭山事件で石川一雄さんが不当逮捕されてから60年目となる5月23日、東京日比谷野外音楽堂で「狭山事件の再審を求める市民集會」が開催され、雨の降りしきるなか全国から1200人、県本部も平和人権環境委員3人が参加した。

会場の舞台上には、昨年県本部でも取り組んだ「鑑定人尋問とインク鑑定を求める署名」52万筆がうす高く積み上げられ、「再審開始が決まった袴田事件に続き、狭山事件も再審開始の

実現を、これ以上時間を延ばすことはできない」と主催者を代表し西嶋藤彦部落解放同盟中央委員長があいさつした。

石川さんは「勝利するまで元気でたたかう、冤罪がはれるまで支援をお願いしたい」と訴え、配偶者の早智子さんは「不当逮捕60年目、短期間で集まったこの署名は世論、鑑定人尋問と再審開始実現へさらなる力添えをお願いする」とした。

集會終了後には霞ヶ関周辺をデモ行進で訴えた。

雨の中デモ行進に参加

また、狭山集會の前日には、部落解放・人権政策確立要求中央集會が開催され、包括的差別禁止法の制定、人権委員会の設置など、人権政策の確立を求め、地元選出国會議員へ要請行動を実施した。

「ご入職おめでとうございます！」

私たちは **じちろう共済** をオススメします!!

まずは組合にご連絡ください

自主労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

仕事のスタート、
備えのスタート。

団体生命共済
長期共済
じちろうマイカー共済

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用